

I . 2019年度決算総括

2019年度決算のポイント

預貸金

・ 預金＋NCD残高	8兆	267億円	(前年度比)	△309億円)
うち個人	4兆8,	772億円	(前年度比)	+1, 669億円)
うち金融・公金	9,	657億円	(前年度比)	△1, 671億円)
・ 貸出金残高	5兆8,	284億円	(前年度比)	+3, 409億円)
うち中小企業等貸出	3兆7,	853億円	(前年度比)	+1, 134億円)

収益

		(前年度比)
・ 親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)	203億円	(△112億円)
・ 当期純利益 (単体)	191億円	(△108億円)

2. 2019年度決算概要

【単体】

(単位:億円)

	18年度	19年度	前年度比
業務粗利益	778	812	34
資金利益	676	690	14
役務取引等利益	87	83	△4
その他業務利益	14	38	24
うち国債等債券損益	9	36	27
経費	583	559	△24
実質業務純益	194	252	58
一般貸倒引当金繰入額 (A)	△1	△2	△1
業務純益	195	254	59
コア業務純益	184	216	32
除く投資信託解約損益	177	205	28
臨時損益	228	11	△217
不良債権処理額 (B)	24	19	△5
その他	253	31	△222
うち株式等関係損益	242	13	△229
経常利益	424	266	△158
特別損益	△2	△2	0
当期純利益	300	191	△109
信用コスト (A)+(B)	23	17	△6

【連結】

連結粗利益	828	862	34
連結経常利益	451	292	△159
親会社株主に帰属する当期純利益	316	203	△113

主な増益要因

- ・経費の削減
(△24億円)
- ・国債等債券損益の増加
(+27億円)

主な減益要因

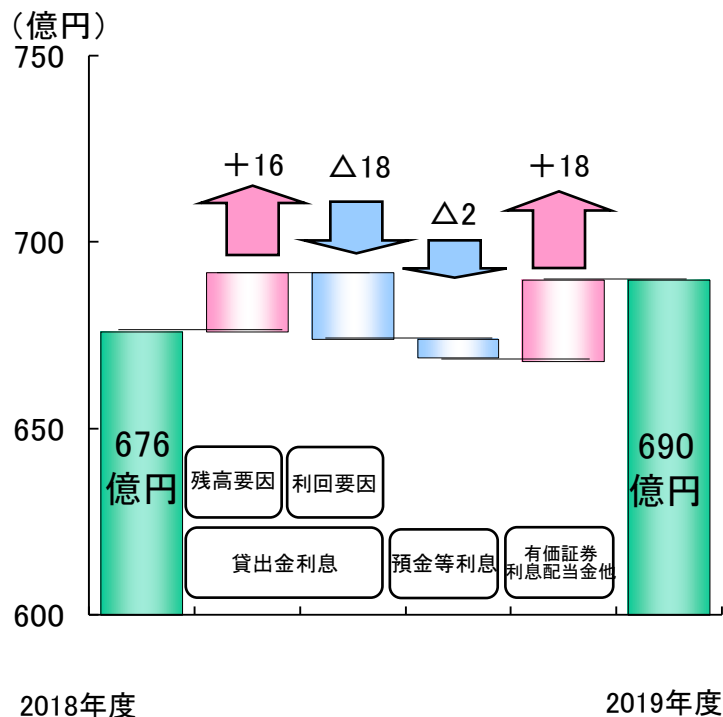
- ・株式等関係損益の減少
(△229億円)

連結

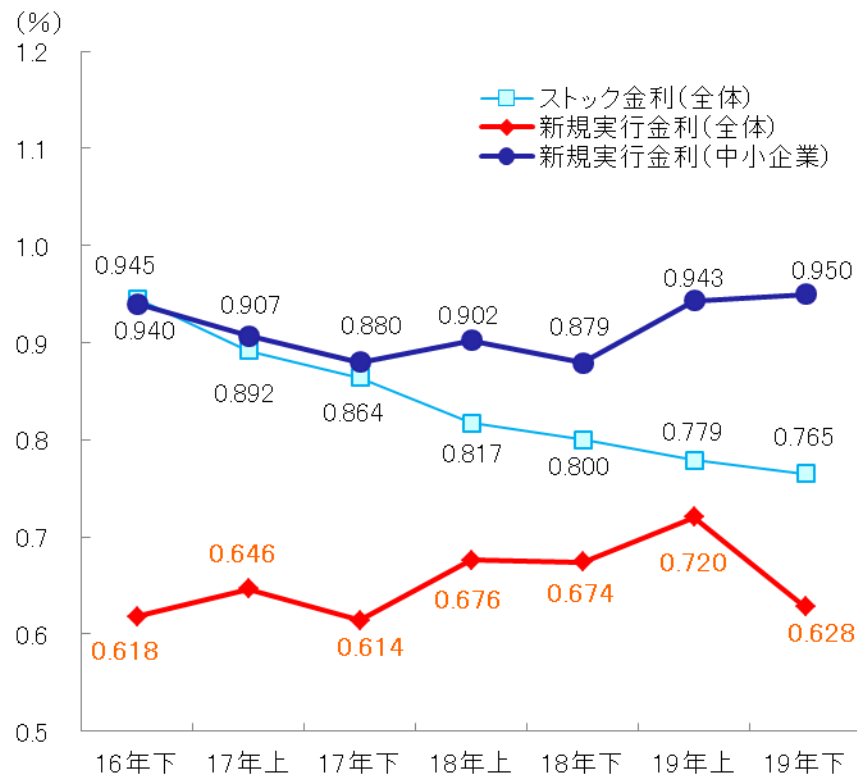
- ・連結の純利益は203億円と第6次中期経営計画の目標値を達成。

3. 資金利益・利回

資金利益の増減要因



国内貸出金利の推移



<貸出利息増減額の推移>

(単位: 億円)

	17年度	18年度	19年度
増減額	△ 8	6	△ 2
残高要因	33	29	16
利回要因	△ 41	△ 23	△ 18

4. 2020年度決算見通し

【単体】 (単位: 億円)

	19年度	20年度(予想)	前年度比
業務粗利益	812	777	△35
資金利益	690	668	△22
役務取引等利益	83	83	0
その他業務利益	38	26	△12
うち国債等債券損益	36	20	△16
経費	559	564	5
実質業務純益	252	213	△39
一般貸倒引当金繰入額 (A)	△2	△1	1
業務純益	254	214	△40
コア業務純益	216	193	△23
除く投資信託解約損益	205	191	△14
臨時損益	11	△25	△36
不良債権処理額 (B)	19	51	32
その他	31	26	△5
うち株式等関係損益	13	17	4
経常利益	266	189	△77
特別損益	△2	△6	△4
当期純利益	191	135	△56
信用コスト (A) + (B)	17	50	33

【連結】

親会社株主に帰属する当期純利益	203	150	△53
-----------------	-----	-----	-----

業務純益

- ・コンサルティング機能発揮により、顧客基盤の強化、収益の確保を図る
- ・一方、有価証券利息配当金や、国債等債券損益の減少により、業務純益は減少する見込み

当期純利益

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、信用コストを50億円程度と想定。前年度比減益を見込む

連結

- ・連結純利益は150億円を見込む